

2. 29

PDA 首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年10月29日（月）15:40-18:10

会場：千葉県立千葉高等学校

参加者：生徒24名、教員6名

ジャッジ：PDA スタッフ、国際基督教大学（ICU）

助成：公益財団法人 日本財団

まず PDA スタッフより PDA の活動についての紹介がありました。続いてパラメンタリーディベートで身に付く力、ディベートのルール、準備時間の使い方などの説明がありました。POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の練習ではすべての生徒が恥ずかしがらずに堂々とポーズを決めることが出来ました。ラウンドをはじめるまえに質問はないかとスタッフが尋ねたところ、「スピーチシートの反論部分は考える時間なくすぐに反論しないとイケないのですか？30秒とか考える時間はないのですか？」とすでにラウンドをイメージした意欲的な質問も見られました。



第1ラウンドの論題が発表されました。昨年の首都圏公立高校交流大会に参加した経験者は3名おりましたが、それ以外の生徒はほぼ初めてのディベートです。ですが準備時間には活発的にチーム内でそれぞれの意見を出し合っていました。

ディベートが始まると、しっかりとした口調で英語を話す大きな声がどのテーブルからも聞こえます。ほとんどの生徒が英語で発表することに抵抗がないように見えました。ラウンド終了後、ジャッジがそのことに言及すると、「(千葉高校の英語科の)先生の指導の賜物です。」と答える生徒たちでした。

ジャッジからの勝敗結果、ラウンドの感想、個人スピーカーへのコメントがなされると、どの生徒もしっかりジャッジの言葉にうなずきながら耳を傾けます。

第2ラウンドの論題が発表されました。「恋愛」に関するトピックだったのもあり、準備時間にはさきほどよりも大きな盛り上がりがあちこちから聞こえます。第1ラウンドを終え、緊張が解けたせいもあるのでしょう。第2ラウンドはさらに白熱した試合となり、また高校生ならではのユニークな視点の説明もあつたりと、笑い声も混じった楽しいディベートとなりました。



どの生徒からも笑顔が見られ、きっと楽しかったと言っていただけに違いないと思える体験会となりました。最後に英語科の岩田先生から「まずこの会場に来るというだけでも素晴らしいことです。」と、今年は昨年度の2倍の参加者があったことを喜ばれ、今日ここに来ている生徒たちのチャレンジ精神を称えてくださいました。体験会終了後にも個々にジャッジにこれからの自分の課題や相談を持ち掛ける生徒も数名おり、最後まで意欲溢れる生徒たちに関心させられたことは言うまでもありません。

◆生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・英語を使って自分の考えを述べるのは自分にとっては難しいことだったがそれだけに工夫のしがいがあったし後学のためにもなった。また単純な英語力だけでなく表現や論理も封用になるということが奥深くて魅了させられた。
- ・自分の英語力や論理的思考力の欠如を見たのでこれから受験英語だけでなく伝わる英語を習ったり論理的思考の実践をことあるごとにしていきたいと思った。
- ・英語の方がしっかりと主張を言い切れるので言いたいことを話せる感じがしてよかった。
- ・自分のディベートに対して先生が丁寧にアドバイスをしてくれたのが嬉しかったです。基礎から高度なテクニックまで教えていただいたので今後のディベートに使えるそうです。
- ・All Englishの様式が心地よかった。これからの時代は英語力、対人コミュニケーション能力が必要なので是非授業でも取り扱う頻度をあげてほしい。
- ・初めてのディベートで本当に緊張しましたがPDAの方々の温かいサポートのおかげで自分なりに頑張ることができました。今回の経験のおかげで自分の英語力がよくわかったので本当に参加できて良かったです。

◆ベストディベーター賞に選ばれた皆さん（順不同）

■さん

■さん

■さん

■さん

■さん

■さん

■さん

■さん

■さん

■さん